

どんな研究	技術の進展により、こども園などでロボットの活用が進む中、子どもがロボットをどのように認識するかを明らかにすることは、幼児教育への応用の観点から重要です。本研究は、社会的ロボットが見ていると、子どもの思いやり行動が促進されることを発見しました。
どこが凄い	5歳の子どもは、対人インタラクション機能を有する社会的ロボットの前では他者を思いやる行動を取り、インタラクションできない非社会的ロボットの前では自己を優先する行動を示すことが明らかになりました。また、子どもは社会的ロボットに心を強く感じることもわかりました。
めざす未来	本成果は、社会的ロボットを子どもの自律的な学習に寄り添う「学習コンパニオン」として活用する際の設計指針などに利用できます。さまざまな子どもに応じて学びやすい関わり方や適切な支援方法を設計することで、AI時代における幼児教育の充足につながることが期待されます。

子どもとロボット

- 科学技術が進みロボットが生活に取り入れられている現在、ロボットが子どもに与える影響を知ることは重要

既存研究 5歳頃から、人間の観察者の前で良い子にふるまう

本研究の着眼点 ロボットが観察者の場合はどうか？



研究1：ロボットの前での行動変化

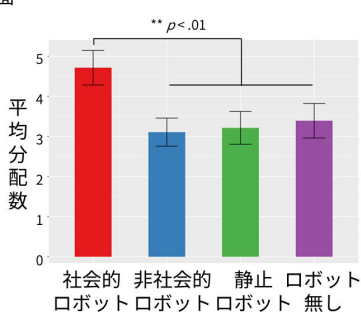
- 5歳児がロボットの前で良い行動をとるのかを検証

① 比較したロボット機能の差異

- 参加者：5歳児112名
- 子どもはロボットと5分間対面



② 分配課題（他者への思いやり行動）

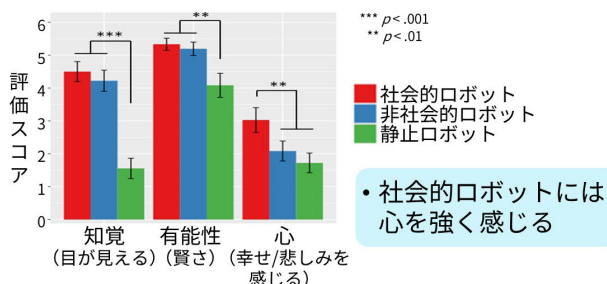


- 子どもに10枚のシールを提供
- ロボットの前で、シールを自分と他者の間で分配

社会的ロボットの前で多く分配
→社会的ロボットが見ていると
思いやり行動が促進される

研究2：ロボットに感じる印象の比較

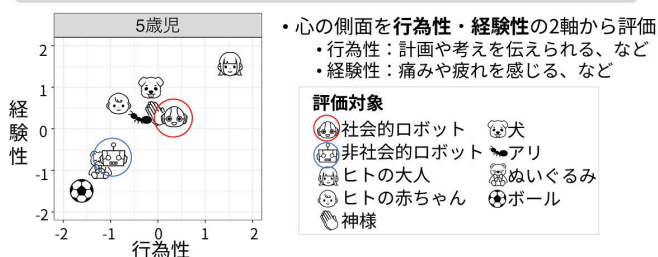
- 5歳児がロボットの知覚、有能性、心の特性をどの程度感じているかを評価



- 社会的ロボットには心を強く感じる

研究3：ロボットへの心の感じ方

- ロボットを含む多様な対象への心の感じ方を検証



- 社会的ロボットに対する心の感じ方は、無生物（ボール/ぬいぐるみ）やヒトの大人とは異なる

関連文献

- [1] Y. Okumura, T. Hattori, S. Fujita, T. Kobayashi, "A robot is watching me!: Five-year-old children care about their reputation after interaction with a social robot," *Child Development*, Vol. 94, pp. 865-873, 2023.
- [2] 奥村優子, 服部正嗣, 藤田早苗, 小林哲生, "ロボットが見ている！5歳児におけるロボットの前の評判操作と特性帰属," 日本心理学会第88回大会, 2024. (特別優秀発表賞受賞)
- [3] 池田彩夏, 奥村優子, "心の知覚の発達," 日本赤ちゃん学会第24回学術集会, 2024.

連絡先

奥村 優子 (Yuko Okumura) 協創情報研究部 コミュニケーション発達研究グループ